

## 山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



山梨県立あけぼの支援学校

教諭 小宮山 莉央

担当教科 特別支援小学部

令和3年度採用

山梨県出身

### ◆学校の先生になった理由

幼いころから、年下の子と一緒に遊んだり、お世話をしたりすることが好きでした。中学生の時の職場体験では、保育園を選び、子供たちと過ごす毎日の楽しさ、魅力を感じました。そのような経験の中「先生」という職業にあこがれを持ち、必然的に目指すようになりました。大学では、保育、教育について学び、特別支援の存在を知りました。また、実際に子供とかわる機会も増え、子供と一緒に過ごすことが私にとってとても魅力のあることだと再確認するとともに、特別支援教育にも高い関心を持ちました。特別支援教育をもっと極めたい！子供のためにできることを増やしたい！の思いで、学校の先生になりました。

### ◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

子供の「できた」瞬間に立ち会えることです。今までできなかったことができるようになったことを子供と一緒に喜ぶ時間にやりがいを感じます。成長がゆっくりな子供も多いので「できた」を実感するまでに時間はかかります。一つの学習に対して、様々なアプローチを考え、失敗もしながらそのたびに何度も支援方法や教材を工夫し直すことで、子供の「できた」につながると思っています。毎日一緒に過ごしている中で、自分のかかわりが子供の成長の手助けになっているかもしれないと実感できることも魅力です。

### ◆学校の先生として心がけていること

子供に好かれる先生になることです。子供と学校生活を送る中で、まず大切なことは信頼関係を築くことだと思っています。学習をするにも、日常生活の指導をするにも、叱るにも信頼

関係がないと成立しません。特別支援学校では、特に強く感じます。信頼関係を築くために、子供の気持ちを尊重し受け止めること、そしてほめることをとても大切にしています。子供にとって、この先生と一緒にいたいと思える存在になれるようなかわりを心がけています。また、子供との良い信頼が保護者との良い信頼関係にもつながるのではないかと感じています。

### ◆私が目指す学校の先生像

子供と一緒に本気で楽しんで、本気で遊ぶことができる先生でありたいです。小学生のころ、私たち小学生相手に本気で遊んで本気で叱って、いつも全力な先生のことがずっと忘れられません。当時はそれが普通のことだと思っていましたが、自分も同じ立場になり子供と一緒に常に全力でいることがどれだけ魅力的なことなのかを実感しています。変に大人になって冷静になるよりも、子供と同じベクトルで一緒に楽しんで、一緒に笑って日々を過ごせるような先生でいたいです。そのために、心に余裕をもって子供と関わりたいと思っています。

### ◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

皆さんの「学校の先生」のイメージは何ですか？私は、もちろんあこがれもありましたが、「仕事が多いのかな」「授業って難しいのかな」などの不安もありました。実際に学校の先生になって、仕事が多いことも授業が難しいこともあります。ですが、本当に子供たちがかわいいです。少し疲れたな…という時も、自分を慕ってついてきてくれる子供たちを思うと、頑張らなきゃ！という気持ちになります。大変なこともあります。しっかり休みもとりながら自分のペースでゆったり働いていければいいなと思っています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



### ◆わたしの学校（職場）の雰囲気

私は山梨県出身ですっと山梨で過ごしてきました。そのおかげで小学校、中学校、高校とお世話になった先生や共通の知り合いのいる先生たちがいる職場で働くことができます。まだ2年目ですが、アットホームな雰囲気を感じながら働けていることに感謝でいっぱいです。また、専門性の高い先生方も多く、指導や支援に悩んだときには頼りになる、相談できる先生が多くおり、恵まれた環境で働くことができます。子供たちの様子ですが、本当に様々な子供たちがいて、指導の仕方も幅広いです。お話のできる子、小さな動きで自分を表現する子、車いすの子、歩ける子など様々な子供たちが一緒に活動し、ともに学び合うことができる学校で働いています。

### ◆退勤後や休日の過ごし方

肢体不自由の学校で、子供を移動させる際に抱っこをすることも多いため、退勤後は身体のストレッチを行っています。腰や足、背中を中心に身体をほぐしています。気持ちもリフレッシュできて気持ちいいです。休日は、様々な分野の本を読んだり、映画を見たりして過ごしています。たまに大学や高校時代の友達と会って、お互いの仕事や将来について話したり、コロナが終わったら旅行に行きたいねと妄想計画を立てたりして、たくさん笑っています。もちろん何にも予定を入れなくて、ゴロゴロしながらゆっくり休む日も大切にしています。休日はゆっくり休んで、日曜日の夜、また一週間頑張ろう！と気合を入れて寝ます。



### ◆小宮山莉央先生の1日

内容	解説
出勤	6時半に起床します。 学校に着いたら、今日の授業の最終確認を済ませます。
登校	登校後、トイレ指導や着替え、荷物整理などを行い、身体のストレッチを行います。 また、家庭での子供の様子を連絡帳で確認します。その後は朝の会まで少し自由な時間を過ごします。
朝の会 授業	毎日違う反応を見せてくれる子供たちとの授業はとても刺激的です。一生懸命考えた授業を子供たちがノリノリで参加してくれると、嬉しくなります。休み時間には、それぞれの子供の好きなことをして過ごします。
給食指導 昼休み	主に給食指導に入ります。実際に口から食べる子もいれば、胃ろうから注入の子もいます。子供たちそれぞれの方法で食事をとります。
授業	授業は、個別授業と集団授業があります。個別授業は一人一人の課題に沿って行い、集団授業では集団を意識できるような学習を行います。
下校 掃除	下校までに今日の子供の様子を連絡帳に記入します。下校後は教室の掃除を行いながら、クラスの先生と今日の子供の様子を話して、子供の実態把握を進めます。
放課後	授業の準備や、資料作りなどを行います。日によっては会議や研修もあり、様々なことを学ぶ機会が沢山あります。
退勤	